第1学年「社会」(地理的分野)

1 学習内容と使用する教材

		単元名	学習内容	使用する教材
1		世界の姿	○地球の姿を見てみよう	・教科書
学			○世界のさまざまな国々	・地図帳
期	世		○地球上の位置を表そう	・授業プリント
/	界と		○地球儀と世界地図を比べてみよう	• 色鉛筆
2	日	日本の姿	○日本の位置	・ワーク
学	本の		○日本と世界との時差	※ワークは授業
期	姿		○日本の領域の特色	以外にも家庭
/			○北方領土・竹島と尖閣諸島	学習で活用し
3			○日本の都道府県	ましょう。
学		世界各地の人々の生	○雪と氷の中で暮らす人々	
期		活と環境	○寒暖の差が激しい土地に暮らす人々	
	世界の		○温暖な土地に暮らす人々	
	の ()		○乾燥した土地に暮らす人々	
	様々な地域		○常夏の島で暮らす人々	
			○標高の高い土地に暮らす人々など	
		世界の諸地域	○アジア州 ○ヨーロッパ州	
			○アフリカ州 ○北アメリカ州	
			○南アメリカ州 ○オセアニア州	

2 評価について

- (1) 基本的な考え方…下の表に示した3つの観点による評価を基本として、学習の目標がどれだけ実現できたかによって評価します。また、一人ひとりの良い点や可能性、進歩の状況なども積極的に評価します。そのため、学習前や学習過程の中にも評価の場面を設け、生徒の変容を計画的、継続的に把握します。
- (2) 具体的な評価の方法…定期テスト・小テストや観察、授業態度、作品やレポートの分析などを組み合わせて評価します。また、生徒自身が学習を振り返り、次の学習や総合的な学習の時間、日常生活に生かせるような自己評価能力の育成にも努めます。

	世界を大観し、日本とその諸地域のおもな地理的事象や日本と世界の結び
	付きなどについて、他地域と比較、関連させて理解し、それに関する知識を
知識及び技能	身に付けている。
	地図、統計、映像など地域に関する様々な資料を適切に選択し、活用する
	とともに、地図や報告書などを作成し、発表、討論などをしている。
思考・判断・表現	地理的事象を多面的・多角的に考察し、各地域の人々の世界の地域的特色
芯芍・刊例・衣坑 	を把握して公正に判断している。
主体的に学習に取り	地理的事象に関心をもち、それを意欲的に追究して、広い視野から世界や
組む態度	我が国の国土の特色や日本と世界の結び付きについて認識を養おうとする。

第1学年「社会」(歴史的分野)

1 学習内容と使用する教材

時	時 単元名		小単元名	使用する教材
期				
	歴史へのとびら	歴史をとらえる	○時期や年代の表し方 ○歴史の流れのとらえ方	・教科書
		見方・考え方	○時代の特色のとらえ方	・授業プリント
		身近な地域の歴	○身近な地域に残る遺跡や博物館の調べ方	• 色鉛筆
		史	○情報収集の仕方や年表などのまとめ方	・ワーク
			○地元の人への聞き取り調査の仕方	※ワークは授業
1	古代までの日本	世界の古代文明	○人類の出現と進化 ○古代文明のおこりと発展	以外にも家庭学
学		と宗教のおこり	○中国文明の発展 ○ギリシャ・ローマの文明	習で活用しまし
期			○宗教のおこりと三大宗教	よう。
2		日本列島の誕生	○旧石器時代と縄文時代の暮らし	
学		と大陸との交流	○弥生時代の暮らしと邪馬台国 ○大王の時代	
- 男		古代国家の歩み	○聖徳太子の政治改革	
791		と東アジア世界	○東アジアの緊張と律令国家への歩み	
3	·		○律令国家の成立と平城京 ○奈良時代の人々暮らし	
			○天平文化 ○平安京と律令国家の変化	Ł
期			○摂関政治の時代 ○国風文化	
791	日本まで	ユーラシアの動	○モンゴル帝国とユーラシア世界	
		きと武士政治の	○モンゴルの襲来 ○南北朝の動乱と室町幕府	र्न
		展開	○東アジアとの交流 ○産業の発達と民衆の生活	
	の		○応仁の乱と戦国大名 ○室町文化とその広がり	

2 評価について

- (1)基本的な考え方…下の表に示した3つの観点による評価を基本として、学習の目標がどれだけ実現できたかによって評価します。また、一人ひとりの良い点や可能性、進歩の状況なども積極的に評価します。そのため、学習前や学習過程の中にも評価の場面を設け、生徒の変容を計画的、継続的に把握します。
- (2) 具体的な評価の方法…定期テスト・小テストや観察、作品やレポートの分析などを組み合わせて評価します。また、生徒自身が学習を振り返り、次の学習や総合的な学習の時間、日常生活に生かせるよう自己評価能力の育成にも努めます。

	歴史的事象に対する基本的な考え方、社会的事象の意義や役割、相互の関連などを
ケロが、アフドナナム	理解し、その知識を身につけている。
知識及び技能	歴史的事象から課題を見いだし、社会的事象の意義や役割、相互の関連などを多面
	的・多角的に考察し、様々な考え方を踏まえ公正に判断する。
思考・判断・表現	歴史的事象に関する資料を収集し、情報を適切に選択して活用するとともに、追究
芯石・刊例・衣児	し考察した過程や結果を図表化したり報告書にまとめたりして、発表している。
主体的に学習に	歴史的事象に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、広い視野に立ってよりよ
取り組む態度	い社会を考え公民としての自覚をもって責任を果たそうとしている。